

縦型ショート動画制作の AI導入チェックリスト

企画から検証までの5工程で
導入前に揃える情報と判断を整理する

- 01 案件の条件を揃える
- 02 21項目で準備状況を確認する
- 03 一つの案件で導入範囲を決める

SynClip

入力と制作条件を揃える

チェックは準備状況を整理するためのものです。未確認の項目を次の作業に変えていきます。

01 案件の条件

- ☐ 目的と掲載先を決める
- ☐ 月間本数と制作原価の内訳を確認する
- ☐ 制作担当者と承認担当者を決める

02 企画・台本

- ☐ 対象者の状況と検証する訴求を明確にする
- ☐ 根拠になる商品情報と使える表現を整理する
- ☐ 台本を採用・修正した理由を残す

03 素材・撮影準備

- ☐ 素材を商品・場面・動作で整理する
- ☐ 使用条件と台本との対応を確認する
- ☐ 足りないカットを撮影指示にする

04 編集・展開

- ☐ 尺・音声・字幕・出力条件を決める
- ☐ 人が確認する箇所と品質基準を決める
- ☐ 差分をつくる要素を先に分ける

確認と次の判断を揃える

AIの出力だけで終わらず、人の確認と次の制作へ渡す情報まで決めます。

05 修正・確認

- ☐ 修正箇所をタイムコードで指定する
- ☐ 変更理由と承認履歴を残す
- ☐ 納品・公開前の承認手順を決める

06 検証・次案

- ☐ 制作時の仮説と配信結果を紐づける
- ☐ 比較する配信条件を揃える
- ☐ 次に変更する要素を一つずつ整理する

07 導入の評価

- ☐ 品質・原価・再現性を同じ条件で比較する
- ☐ AI利用料と人の確認・修正工数を計上する
- ☐ 制作余力の増加と現金支出の削減を分けて把握する

品質と原価を同じ条件で見る

採用できる一本あたりの原価を比較します。AI利用料だけでなく確認・修正工数と固定費も計上し、制作余力の増加と現金支出の削減を区別します。

一つの案件から導入範囲を決める

最近の動画と台本、素材、修正のやり取りを用意してチームで埋めてください。

01 対象の商品・案件と動画の目的

02 月間本数と制作原価の内訳

03 いま最も時間がかかる工程とその理由

04 AIに任せたい作業と人が確認すること

05 検証する一本と品質・原価の確認基準

制作フローからAI導入を相談する

株式会社SynClip

<https://www.synclip.co.jp/contact>